

小林ゆかり オルガンリサイタル

～言葉にならないものを形にしたい～

プログラム

- J.S.バッハ / 装いせよ、我が魂よ BWV654
J.S.バッハ / 前奏曲とフーガ ヘ短調 BWV534
J.S.バッハ / 目覚めよと呼ぶ声が聞こえ BWV645
J.S.バッハ / 前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552
J.S.バッハ / フーガト短調 BWV578
J.G.ヴァルター / 協奏曲 口短調 LV133
A.G.メルケル / オルガンソナタ 2番 ト短調 Op.42
小林ゆかり / トッカータ ハ短調 Op.1 ほか
※曲目等に変更が生じる場合があります。



日時 2026年 **11**月**6**日(金)
18:30 開演(18:00開場)

場所 ミューザ川崎シンフォニーホール

料金 前売券 ¥3,500円 当日券 ¥4,000円
(全席指定)

チケットのお申込み

- ミューザ川崎 044-520-0200 (10:00～18:00)
<https://muza.pia.jp>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード [334-494]
- イープラス <https://eplus.jp/>

問い合わせ E-mailでお願いします : concert884@gmail.com
080-2151-5812(小林ゆかりリサイタル実行委員会)

言葉にならないものを形にしたい

オルガン曲と言えば、多くの方がJ.S.バッハの作品を思い浮かべることと思います。バッハはバロック音楽を集大成したと言われていいます。

劇音楽(オペラ)が誕生した1600年頃からJ.S.バッハの亡くなった1750年頃までの約150年間をバロック音楽時代と呼びます。この数年で世界の状況や人々の生活、価値観などが大きく変化しています。しかし、このような時代の変化と共に移りゆくものがある中で、J.S.バッハの音楽作品の変わらない素晴らしさに心を留めたいと思います。特にバッハの短調の曲はいつも私に平穏と感動を与えています。皆様に心ゆくまでお楽しみいただけたらと思っています。

小林ゆかり

小林ゆかり Yukari Kobayashi



東京純心女子大学(現、東京純心大学)現代文化学部芸術文化学科パイプオルガンコース卒業、慶應義塾大学法学部法律学科卒業、順天堂大学大学院医学研究科修士課程修了。オルガンを廣野嗣雄、今井奈緒子、Harald Vogel、Hans-Ola Ericssonの各氏に師事。ピアノを寺西昭子氏に師事。通奏低音を廣野嗣雄氏に師事。国内外のマスタークラスにも参加している。日本各地、アメリカ、ドイツにおいてソロ活動の他、合唱伴奏、賛美歌創作、作曲活動も行っている。コンサートでは自らの作品を演奏して定評を得ている。また、後進の指導にも力を入れている。2018年から毎年CDをリリースしている。

現在、関東学院大学チャペルコンサートオルガニスト、関東学院中学校高等学校オルガニスト、日本医療伝道会衣笠病院オルガニスト、順天堂大学大学院医学研究科博士課程在学中。(一社)日本オルガニスト協会会員。

小林ゆかりのCD



J.S.BACH ORGAN WORKS 1



J.S.BACH ORGAN WORKS 2



麗しのオルガンRei



J.L.Krebs クラヴィア練習曲集



J.S.BACH ORGAN WORKS 3



ドイツのバロックオルガン曲



天にましますわれらの父よ



J.S.BACH ORGAN WORKS 4

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ミューザ川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310
TEL044-520-0100(代表)
JR川崎駅 中央西口から徒歩3分
京急川崎駅 中央口から徒歩8分

